

第4回全国省エネミーティングin福島

(旧名称：Forward to 1985 energy life秋の大集会)

再生可能エネルギーを増やしなが ら、 小さなエネルギーで 豊かに暮らせる社会をつくら う！

日本全体で向かうべきこの目標を達成させるために、ここ福島で何ができるか？
様々な困難な状況があることを踏まえつつ、ここ福島で何が始められるか？
暮らしの場であり、エネルギー消費の最小単位である住まいに焦点を絞りながら、
地域で様々な取り組みをされている人たちに集まっていただき、
みんなでこのことを考えたいと思います。



2014年

11月13日 木曜日

会場 コラッセふくしま 多目的ホール

受付 13:00開始 参加費 無料

定員 300名 8月4日(月)当法人HPにて参加受付開始 定員に達し次第受付終了

プログラム

■ 13:30～14:30

『市民が進める家庭での省エネルギーの意義』

(一社) Forward to 1985 energy life 代表理事 野池政宏

■ 14:30～15:15

『福島市における再生可能エネルギーの現状と
今後の方向性』 福島市長 小林香氏

■ 15:30～17:00 パネルディスカッション

『ここ福島で何ができるか？』

[パネリスト]

福島市環境部環境課長 加藤孝一氏

エコロジーオンライン 上岡裕氏

福島県地球温暖化防止活動推進センター 遠藤裕子氏

[コーディネーター]

野池政宏

小林香 (こばやし かおる)

福島市長。福島県立福島高等学校卒業、中央大学法学部法律学科卒業、英国サセックス大学大学院修士課程終了(国際関係論)。平成20年環境省地球環境局環境協力室長、平成21年環境省東北地方環境事務所長、平成25年7月環境省大臣官房付、平成25年12月福島市長(1期目)。



Kaoru Kobayashi

野池政宏 (のいけ まさひろ)

一般社団法人Forward to 1985 energy life代表理事。住まいと環境社代表。岡山大学物理学部物理学科卒。自立循環型住宅研究会主宰。暮らし向上リフォーム研究会主宰。「野池新聞」発行人。主な既刊書 じっくり派のための家づくりガイド①断熱・省エネ編/②自然住宅編/シックハウスがわかる/省エネ・エコ住宅設計究極マニュアル/本当にすごいエコ住宅をつくる方法



Masahiro Noike

<主催>

(一社) Forward to 1985 energy life

HP:<http://to1985.net/> TEL:072-763-4770

ご参加お申込・イベント最新情報は

1985

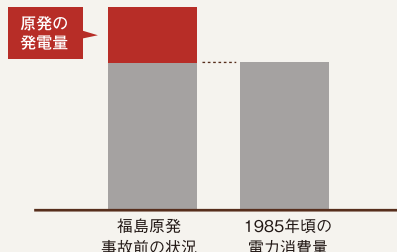
検索

Forward to 1985 energy life が考えている「2011→1985へのシナリオ」

私たちの住む環境は、私たちにしか変えられない。住まい手と住宅をつくるプロと一緒に考え、家庭の省エネから日本を変える。これが“Forward to 1985 energy life”です。

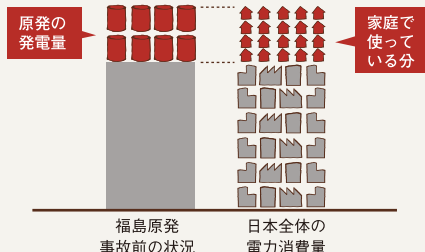
1 原発の発電量(年間)がもしなかったとしても、1985年頃の電力消費量であれば、何とかやっていけます。

日本全体の1年間の電力発電量と消費量

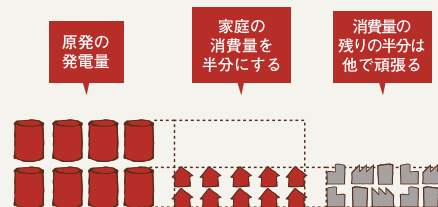


2 そして、原発の発電量は家庭全体の電力消費量とほぼ同じです。つまり、家庭の電力消費量を減らすぶんだけ原発がいらなくなります。

日本全体の1年間の電力発電量と消費量



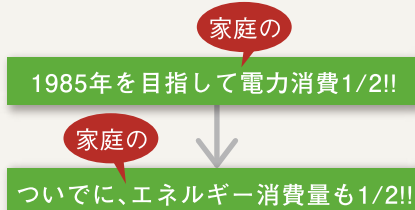
3 家庭の電力消費量をゼロにするのは無理ですが、少し時間をかければ「半分」にすることは十分に可能です。原発分を無くするための残り半分は他の分野に頑張ってもらいます。



4 日本のエネルギーに関わるテーマにおいて、電気のこと(原発のこと)だけが重要ではありません。だから、電力消費量だけではなく、家庭のエネルギー合計(電力・ガス・灯油)も半分にすることを目指します。



5 ①1985年頃の電力消費量になることを目指して、家庭の電力消費量を半分にする。
②そしてついでに家庭のエネルギー消費量も半分にしてしまう。
③これが1985アクションです。



6 この目標を2030年頃に達成させる。我慢ではなく、楽しく、かきこく実行する。

だから Forward to 1985 energy life

なのです!



一般社団法人 Forward to 1985 energy lifeが行っている事業

<p>大目標</p> <p>2030年頃までに、家庭部門の電力消費量と1次エネルギー消費量をいまの半分にする</p>	<p>大目標を達成させるための目標</p> <p>全国の各家庭の電力消費量と1次エネルギー消費量をいまの半分にする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●暮らし省エネマイスター検定の実施 ●野池学校・リノベ学校の開催 ●環境省 うちエコ診断事業 ●書籍の発行など具体的な省エネ情報の提供 	<p>1985地域アドバイザー拠点の設置と教育</p> <p>(2020年頃までに全国の市区町村に少なくとも1拠点を設ける)</p>	<p><その他の活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ■年1回の省エネミーティングの開催 ※2011年から開催 ■講習会等イベントの開催 ■(社)パッシブデザイン協議会との協働 <p>1985アクション公式解説本vol.1と省エネミーティングの様子</p>
---	--	--	---	---

会場地図



別途「省エネミーティング 懇親会+土湯温泉パイナリー発電&小水力発電見学会」を一泊二日、土湯温泉で開催します。詳細・お申し込みはHPへ



<後援>

福島市/一般社団法人地球温暖化防止全国ネット/福島県地球温暖化防止活動推進センター/一般社団法人日本住宅リフォーム産業協会/一般社団法人パッシブデザイン協議会/自立循環型住宅研究会/NPO法人WOOD AC/福島民報社

<協賛>

株式会社エヌ・シー・エヌ/有限会社羽根建築工房/株式会社千葉工務店/株式会社くりこまくんえん/株式会社小林建設/岡崎製材株式会社/OMソーラー株式会社/OM総合保証株式会社/株式会社木村工務店/株式会社育暮家ハイホームズ/株式会社暮らしエネルギー研究所/株式会社エヌテック/オスモ&エーデル株式会社/安井建設株式会社アトリエコロバ事業部/株式会社山長商店/株式会社FPコーポレーション/京セラソーラーFC (株式会社京セラソーラーコーポレーション) (2014年10月1日現在)